

令和4年1月14日

中野区長 酒井直人殿

公明党議員団 平山 英明
木村 広一
久保 甲香
南 勝彦
甲田 百合子
白井 秀史
小林 善一
日野 崇



新型コロナウイルス感染症対策における緊急要望

(新型コロナウイルス感染症対策としての3回目ワクチン接種等迅速化に関する緊急要望)

新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」が世界を席卷する中、我が国においても急速に市中感染が進みつつあるとともに、感染者数も急増している。オミクロン株による感染の第6波の様相を呈していることを踏まえた対策が必要である。

中野区においては、現在、3回目のワクチン接種の準備、及びワクチン前倒しの対応に当たられていることを評価するものである。国は1月13日付事務連絡により、初回接種完了から8か月以上の経過を待たずに新型コロナワクチンの追加接種を実施する場合の考え方について(その2)で、更なる前倒しも示した。

そこで、公明党議員団として以下の通り、緊急要望を行う。中野区におかれては速やかに対応されたい。

記

- ① 令和3年12月及び令和4年1月付で、既に送付されている「追加(3回目)接種のお知らせ」では、予約時期が明確に示されていないことから区民の間で混乱を招いている。予約に関する正確で分かりやすい情報を提供する必要がある。
はがきによる送付等、個別の案内による情報提供を速やかに行われたい。
- ② ワクチン予約に苦慮している区民、3回目ワクチン接種時期が明確でなく困惑している区民に対し、予約のサポート等、相談体制を強化されたい。

- ③ 国の事務連絡により「一般高齢者に対して、令和4年3月以降、初回接種の完了から6か月以上経過した後に追加接種を実施するよう努めること。」が示された。速やかに取り組まれない。
- ④ 5歳以上11歳以下の子どもへのワクチン接種については、国内では12歳未満の感染による死亡例はなく、重症化リスクも低いといわれていることから、接種開始にあたっては、これまで以上にワクチンの効果や副反応について、より分かりやすく丁寧な情報発信を行うことが必要であり、保護者や学校の先生たちに対し、大人用のワクチンと何が違うのか、そして副反応が出た場合の対応などわかりやすく説明した資料を用いて、学校等で活用できるようにすること。あわせて、学校現場でワクチン接種を巡っていじめ等が起きないように、対策を講ずること。
- ⑤ 1回目・2回目の接種が終わっていない若者や外国人、ホームレス等特別な事情を抱えておられる方々のためのワクチン接種機会を引き続き確保するとともに、ワクチンも確保すること。
- ⑥ ワクチン接種は強制ではなくあくまで本人の意思に基づくものであり、未接種を理由とした解雇や減給、接種を採用条件とすることなど不利益な取扱は差別的取扱にあたる可能性が高いことを明確にすること。
- ⑦ 追加接種ワクチンにおいては、ファイザー社製ワクチン、モデルナ社製ワクチン及び小児ワクチンにおいては一つの医療機関で複数種類のワクチンを接種する可能性があることから、医療機関等との連携を密にし、間違い接種等を防止すること。